

ふたかみ NEWS プチトマト

古着市開催！
詳細4面

ハピバール散歩



ハピバールでは、週に2回散歩に出かけています。近くの農林センターや公園に行って遊んだり楽しんでいます。熱中症対策として、ハピバールでは自家製の梅シロップを作り、梅ジュースを飲んでいきます。今年は、駒ヶ谷へぶどう狩りにも行きました。（阪本）

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



古着市

ふたかみ福祉会後援会で古着市を開催します。ぜひ会場へお越しください。

日時：2023年11月11日(土)10:00～13:00

会場：翠鳥園横空き地(イズミヤ古市店横)

売り物：古着、靴、かばん

雨天中止 前日9時に判断いたします。

※当日の天候により、時間を変更する可能性があります。

古着などの回収にご協力よろしくお願い致します

回収期間：10月2日(月)～10月25日(水) 段ボールでご提供頂けると幸いです。

お問い合わせ先：072-959-3221 ふたかみ福祉会事務所まで

このまちで暮らしたい
「障害者生活耕房」(グループホーム)

ー建設募金のお願いー

2022年6月openしました！！

新しい暮らしを支える拠点として…

建設募金へのご協力を引き続きよろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店(セロキュウキュウ店) 【口座番号】0225417

cafe ハピバール

10月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 9日(月), 21日(土)

★Instagram★
[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar.com)



お問い合わせ先
072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2023年8月】

・川瀬真弓

.....以上3口

・加藤紀子

.....以上2口

・竹内彩 若林茂美 宮脇紀子 小川裕子 西川光子 森美栄子 西村裕行以上1口

■ボランティア.....垣内秀夫様 垣内享太様

■アルミ缶回収(8月分)1000 kg

ありがとうございます。

◆2023年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

きょうせれん第46回全国大会in埼玉 「せけぼう 命の尊さ いだこ」 人権の重み つなごう 平和への願い」

わたしらしくあなたらしく生きられる社会を

8月30日・31日、きょうせれん全国大会in埼玉に参加してきました。

昨年、3年ぶりに集えた喜びから、今年はさらにたくさんの方が参加されており、会場の外まで活気に満ちていました。

「障害者権利条約」をテーマにした話や、分科会では「暮らし」「相談」「制作・運動」「国際交流」などをテーマに講演やグループでの意見交換が行われました。

◆分科会

「精神障害のある人への支援」

「共同創造って、どんなこと？」をテーマに、当事者主体の活動やピアサポーターが活躍している実践報告を聞くことができました。

「共同創造」とは、サービス提供者とサービス利用者が対等な立場で作ることをいい、政策などを作る場、個々の組織を作る場、個別の関わりなどの場など、様々な場面でお互いの経験や価値を持ち寄ってよいものを作り

あげ、特に精神障害分野では今後、共同創造の先駆けになりえる領域という話がありました。

当事者の報告の内容では、一般企業で働いていた中で精神疾患を発症し、周囲の支援を受けながら最低賃金の保証を受けて働いている人の話を聞くことができました。症状を伝えたらうえで働くことで安心しながら働くことができること、障害者施設でピアサポーターとして働く方の話では、「同じ症状や経験があるからこそ寄り添うことができる」と話されていました。

精神疾患といっても様々な症状があり、見た目ではわかりにくいことから、なかなか理解してもらうことができずにさらに症状が悪化してしまうことや、症状が理由で職種が限られてしまふなど、社会生活での生きづらさなども話されていました。

症状と付き合いながら、同じ障害がある方を支えていくピアサポーターといった活動を聞く中で、支援者としての「対等

な関わりとはなんなのか、改めて考えることができた分科会でした。（伊藤）

◆分科会「暮らし・居住」

「暮らしの質を高め選べる暮らしをめざす」をテーマに、サテライト型のグループホームと通過型グループホームについての報告をもとに意見交換を行いました。

障害者権利条約第19条では「どこで誰と暮らしかを選ぶ権利」が障害のある人にも他の者と平等に保障されなければならぬと述べています。しかし現状は本人主体の生活になっていないという話でした。

サテライト型のグループホームの報告では、食事は支援員と一緒に近くのスーパーに買い出しに行き自分の手で作る事の楽しさ、自由に出来て嬉しい反面、1人よりみんなで食事をする方が楽しいということを感じている、という報告がありました。

グループホームでは、一緒に



Artwork by TAIGA KOBAYASHI
46kyosaren Saitama

はるくらぶ学習会

「冠婚葬祭」

支援センターはる（南河内北障害者就業・生活支援センター）に登録されている方々に向けて、冠婚葬祭マナーについての学習会を開催しました。

結婚式やお葬式にすでに参加されたことのある方や、まだ一度も参加されたことがない人等、それぞれでしたが、その中で疑問に思っていることや、どうしたらいいのか悩むことについて話し合いました。クイズ形式で問題を出して答えたり、基本マナーの動画を見た後、参加の際の受付時の対応やご焼香のやり方などを実際に練習してみました。参加された方が積極的に意見をだしており、学んだことを活かせるように取り組まれていることが印象的でした。

学習会では、日常生活や働いている中で感じている疑問などを積極的に意見できるような会を心がけています。これからも安心して就労や生活ができるような取り組みを行って行きます。（大竹）

はびきの園

「紙コップで風鈴作り」

はびきの園での8月26日の土曜開所は、「風鈴づくり」でした。早くも8月の末に差し掛かってしまいました。まだまだ暑さが続きそうなので、涼を感じる取り組みを実施しました。



紙コップには、それぞれ好きなイラストを描いたり、シールを貼ったりして自分だけのオリジナルの風鈴を完成させることができました。ビーズや鈴の小さな穴に紐を通す工程では、「なかなか入らへん」と、みんな一苦労しながら頑張っていました。完成すると風鈴を揺らして鈴の音に耳を傾けていました。色とりどりの風鈴が並んだ様子は、風情がありとてもきれいな光景でした。

今年の夏はプールの再開があったり、土曜開所ではスイカ割りや風鈴作りをしたり夏を満喫することができました。（辰巳）

ハピバール

「ボーナスの取り組み」

今回は3班に分かれて回転すしやファミレス、パスタ屋さんにそれぞれの班で行きました。初めてボーナスをもたらした仲間の2名は初めてのみんなで行くランチになりました！

みんな好きなものを頼んで食べて大満足！つつい食べ過ぎちゃう仲間も？！笑

嬉しそうな笑顔がたくさん見れました！冬はお出かけやお買い物が出来るようにボーナスアップ目指してお仕事がんばるぞ！向山



住んでいる人が苦手など不満もあつたけど、1人で生活できる事の良さと、1人の寂しさも感じられる、そんな報告でした。

「本人が選べる暮らし、当たり前」の事を当たり前に出るような暮らしを我々支援者も仲間と一緒に常に考えていきたいと感じました。

最近、営利を目的としたグループホームが増えてきています。暮らしの場が増えることはよいのですが、利益だけが優先され、支援する側の都合で就寝や食事時間を決めたり、外出の制限をかけたり、障害のある人の思いや願いに向き合った支援の質の低下が心配されます。

「場」だけでなく「安心した暮らし」の場が増えていけたら良いなあと感じました。

仲間たちが障害の程度に関わらず安心して暮らし、「これが自分の暮らし」と言える仕組みづくりをなかと一緒に考えていきたいと思っています。（松田）